

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立下阪本小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《国語科・算数科 調査結果より》

国語科

- ・国語科の全内容の結果内で比較すると、「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」が最も良い結果となっていた。
- ・「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に課題が見られた。
- ・漢字の利用の問題や、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題に、無解答が多く見られた。

算数科

- ・本校の全領域の結果内で比較すると、「図形」が最も良い結果となっていた。
- ・「数と計算」「変化と関係」「データの活用」で、課題が見られた。
- ・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題に無解答が多く見られた。

理科

- ・区分・領域で本校の結果を比較すると、「粒子」の領域が最も良い結果となっていた。
- ・「生命」の領域に課題が見られた。

《児童質問の回答結果より》

全国平均と比較して、肯定的な回答をした児童の割合が高かった主な項目

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ・読書は好きですか。
- ・5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- ・自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- ・理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか。

全国平均と比較して、否定的な回答をした児童の割合が高かった主な項目

- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・プレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか。
- ・ICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか。
- ・算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか。
- ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります。

【指導の充実に向けて】

- 算数科を中心に、子どもが主体的に学び「できた」「わかる」が実感できる授業づくりに努めます。
- グループや学級での話し合いを中心に言語活動を充実させ「話すこと・聞くこと」の力を伸ばします。
- 文章表現力を支える土台づくりとして、読書活動を推進し、各教科の学習で書く活動を計画的に取り入れます。
- 「漢字音読名人」や「かつくん・コグトレ」を活用し、漢字等の基礎学力の定着を図ります。
- ICT教材を積極的に活用し、表現力や情報を整理する力の向上に努めます。
- 様々な課題に向かい解決できる力を育成し、将来への希望や目標がもてるよう、「学校夢づくりプロジェクト」や学級活動、総合的な学習の時間を充実させます。
- 専科教員を中心に、理科の学習の充実にも努めます。